

地域研究領域 履修例

学生の専攻分野・ 出身背景等(例)	総合科学部出身者で地域文化を専 攻した学生	文学部出身者で英文学を専攻した 学生	国際的な業務に従事しキャリアアッ プを目指す社会人
研究テーマ(例)	近代日本の小説と社会	イギリスの地域社会と文学	韓国の現代文化と社会
履修科目(例)	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(地域研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 日本文藝社会研究 日本地域研究 アジア文化論(現代文化) アジア文化論(伝統文化) 【他領域科目】 (4) 文明共存論 社会文化史 自由選択科目 (4単位) 社会動態論 情報システム論	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(地域研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) 英米地域研究 英米文藝社会論 英語圏地域研究 ヨーロッパ地域研究 【他領域科目】 (4) 比較文学 異文化理解 自由選択科目 (4単位) 哲学・思想 ヨーロッパ文化社会論	必修科目 (14単位) 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(地域研究) (8) 選択必修科目 (12単位) 【主領域科目】 (8) アジア地域研究 アジア文化論(現代文化) アジア文化論(表象文化) 日本地域研究 【他領域科目】 (4) 民族学研究 科学・技術・社会論 自由選択科目 (4単位) 地球構成物質論 保全生態学
教育目標(例)	文明・文化の過去・現在における相 互干渉、影響関係、文化価値の解 釈・受容・継承のゆがみ、支配・被支 配関係などを地域に即して研究する 幅広い視野を養い、各地域の文芸 を比較検討することをつうじて、日本 の文芸を地域的な特質との関係で 研究できる人材を養成する。	英語圏文化に対する深い理解と、そ れをあえて異文化としてとらえ、広く 地域の文化、文明の歴史の文脈に 対して認識し、これまでの英文学、 英語学に偏することなく、哲学・習俗 などの知見を吸収し、総合的な英米 文化を研究できる人材を養成する。	アジア地域の特性を、多様な文化の あり方から考察し、さらに、自然環境 の特性を合わせて分析することに よって、文理融合の特色ある地域論 を展開できる人材を養成する。とり わけ、職域での経験・蓄積を活か し、未来のプロジェクト的事業を見据 えたキャリアアップを目指す。
授与学位	修士(学術)	修士(学術)	修士(学術)
養成する修了生像 (例)	<ul style="list-style-type: none"> ● 博士課程後期進学者 ● 地方自治体において地域に根ざ した文化活動を支援できる者 ● 出版業界において新しいジャンルの 文学活動を発掘し、支援できる者 ● 民間企業や地方自治体において アジアのユニークな文化交流を担う 者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 博士課程後期進学者 ● 外国語教育に関わる教育機関に おいて、文化理解の視点から英語 教育ができる者 ● 英語圏の外資系企業において、 日本と英語圏との提携事業に関わ ることのできる者 	<ul style="list-style-type: none"> ● 韓国で企業活動を展開する民間 企業において、現地スタッフとの円 滑なチーム作りのできる者 ● アジアからの多様な留学生を受け 入れる教育機関において、留學生 支援活動を担える者